

広報 2024 10 月号

カザマウラ

KAZAMAURA

2024
No.584
10 月号



第32回青森県民駅伝競走大会(風間浦村チームの皆さん)

村の花鳥木魚



はまなす



かもめ



ひば



あんこう

村民憲章

- 1、わたしたちは、きまりを守り、親切で明るい村をつくります。
- 1、わたしたちは、仕事に喜びをもち、豊かな村をつくります。
- 1、わたしたちは、青少年に希望を老人に生きがいを、そして心のあたたかい村をつくります。
- 1、わたしたちは、自然を愛し、花と緑の美しい村をつくります。
- 1、わたしたちは、常に知識を求め、スポーツに親しみ、楽しい村をつくります。

第32回青森県民駅伝競走大会 村の部8位

第32回青森県民駅伝競走大会が、9月1日（日）に青森市で開催されました。

台風の影響が危惧されていましたが、当日は晴天となり、暑い一日でした。

県観光物産館アスパムをスタートし、ゴールのカクヒログループアスレチックスタジアムを目指して約26.1キロの距離を選手一丸となって走り切り、村の部第8位、総合39位でした。

今年はテレビの中継放送がなく、ラジオと動画配信のみでしたが、選手一人一人が一生懸命タスキを繋ごうとする姿は、村民に元気と感動を与えてくれました。

風間浦村の代表として走った選手の皆さんに感謝し、今後の更なる活躍を期待します。

村民の皆様の温かいご声援ありがとうございました。

青森県民駅伝を走り終えての感想



第4区
中村 裕紀
(海上自衛隊大湊システム通信部)

昨年度と同じく4区の最長区間を走りましたが、昨年と比べてタイムが三十秒も落ちていたこと、襷を繋げられなかったことがとても悔しかったです。既に来年に向けて闘志を燃やしています。

来年も現地やテレビでの応援よろしくをお願いします。



第1区
松本 莉雄
(風間浦中学校2年)

僕は補欠でしたが、急遽走ることになりました。不安でしたが、走らなければならないことには変わらないので走り切ろうという気持ちで挑みました。試走ではコースを間違えることもありましたが、本番では3.8kmを走り切ることができました。

来年は今年以上に頑張りたいと思いました。



第5区
能渡 柚佳
(風間浦中学校2年)

前日に試走をしたので、当日どこでスピードを上げるかを考えることができました。繰り上げスタートになってしまいましたが、自分のコースを最後まで走り切ることができて、良かったです。途中、近所の皆さんが「風間浦頑張れ!」と応援してくれたことがとても嬉しかったです。



第2区
能渡 啓士郎
(風間浦小学校5年)

最初は緊張して体が固まっていたけれど、走るとだんだんほぐれてきて、リズムよく走れました。半分位走ると喉がカラカラになって息ができなくなりました。タスキを渡せるか不安になりましたが、不安な気持ちをなくしてタスキを渡せたので良かったです。

来年も参加したいです。



第6区
金森 威明
(川内消防分署)

2015年以来十年ぶりに選手として走ることができました。タスキをつなぐことは叶いませんでしたが、風間浦村の皆さんや沿道の応援のおかげで走り切ることが出来ました。ありがとうございました。



第3区
工藤 莉緒
(風間浦小学校6年)

今回初めて出場しました。緊張のあまり、思うように走ることが出来ませんでしたが、次の人へタスキをつなぐことができたので良かったです。

次に走る機会があったら今回の反省を生かしてがんばりたいです。



9区 スタジアム内



1区 スタート直後

第32回青森県民駅伝競走大会 風間浦村チームのメンバー

監督	林 拓弥 (風間浦消防分署)
コーチ	金 威明 (川内消防分署)
コーチ	大野 博明 (風間浦村役場)
第1区	松本 莉雄 (風間浦中学校2年)
第2区	能渡 啓士郎 (風間浦小学校5年)
第3区	工藤 莉緒 (風間浦小学校6年)
第4区	中村 裕紀 (海上自衛隊大湊システム通信隊)
第5区	能渡 柚佳 (風間浦中学校2年)
第6区	金 威明 (川内消防分署)
第7区	能渡 遼太郎 (田名部高校3年)
第8区	齊藤 雪愛 (風間浦中学校1年)
第9区	荒木 颯太 (風間浦中学校3年)
控え	山本 陽和 (風間浦小学校5年)
同	橋本 陽奈 (風間浦小学校6年)
同	前田 菜奈 (風間浦中学校3年)
同	宮本 勇雅 (大湊高校1年)
同	荒木 七海 (田名部高校3年)



テレビ中継が無かった今回の大会は台風十号の影響なのか蒸し暑い一日でした。村のため、チームのため…と走りましたが、力不足で思うような走りは出来ませんでした。今回の経験を活かし、これからの練習に繋げていきたいです。
応援ありがとうございました。

第7区
能渡 遼太郎
(田名部高校3年)



中学生になって初めての駅伝で自分の思うようには走れませんでした。親や仲間や走っている時に応援してくださった方々のおかげで最後まで走りきれたので嬉しかったです。
走って良かったと思いました。

第8区
齊藤 雪愛
(風間浦中学校1年)



橋本 陽和
(風間浦小学校6年)



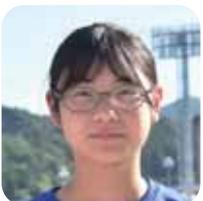
山本 彪牙
(風間浦小学校5年)



荒木 七海
(田名部高校3年)



宮本 勇雅
(大湊高校1年)



前田 菜奈
(風間浦中学校3年)



今年の駅伝は去年と違い大会当日までしっかり練習することができて良かったです。でも他の選手と比べてもまだまだ遅いので、来年・再来年と呼ばれるかはわかりませんが、もっと練習して高い順位を目指せるように頑張っていきたいです。

第9区
荒木 颯太
(風間浦中学校3年)

風間浦村赤十字奉仕団が県内初開催の『赤十字地域防災ボランティア養成研修』に参加しました

8月27日(火)～28日(水)の2日間、風間浦村総合福祉センター「げんきかん」において、日本赤十字社青森県支部(以下「日赤県支部」という。)主催の「赤十字地域防災ボランティア養成研修」が開催され、風間浦村赤十字奉仕団員14名、青森県立保健大学の実習生2名、合わせて16名が参加しました。

風間浦村での研修開催のきっかけとなったのは、村赤十字奉仕団が日赤県支部の講習内容に興味を持ったこと、日赤県支部が本研修をこれから県内に広めていく方針であるとのこと、ちょうど両者の思いが合致したことから、今回県内初の研修開催となったものです。

本研修では平時における自助・共助に必要な手当の基本と減災につながる知識を習得し、有事において自助・共助はもとより、共助のためにその知識と技術を活かせることを目的に開催されたものです。

研修の講師は、日赤県支部の山野内博見事業推進課長と船橋訓子事業推進係長の二人です。

研修では、赤十字で行う心のケア、癒しのハンドケア、心肺蘇生やAEDの操作方法、気道異物除去、三角巾を使った応急処置、避難所体験では段ボールベッドやテント設置などを行いました。日赤県支部の山野内課長からは、「災害時、特に直後は、自分や家族の身は自分たちで守ること、行政の支援が届くまでの間、近隣住民や地域の人たちが互いに協力し、助け合う自助・共助が重要になってくる。この自助・共助の力を高めることが、災害から命を守る基盤につながる。避難所では体だけでなく心も傷ついており、人は危機的な状況に対して、さまざまな時にさまざまな形で反応するもの。だからこそ、心のケアは押し付けるのではなく、相手の立場に立って対応することが重要です。」また、「避難所生活では苦しさのなかにも、楽しみを持つことが心のケアにつながる大切なこと。」という視点や能登半島地震での救護体験をもとにいろいろなお話を聞くことができ、とても貴重な研修となりました。

【お問合せ先】風間浦村 村民生活課 福祉介護グループ ☎0175-35-3111



風間浦小学校稲刈り体験学習

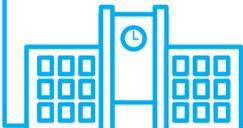


9月17日(火)、風間浦小学校では5月に全校児童で田植えをしたもち米「アカリモチ」の稲刈り体験学習を行いました。

子供たちは、学校田の管理を依頼している木下重利さんの指導の下、鎌の使い方の指導を受け、4・5・6年生が稲刈りをし、刈った稲を1・2・3年生が束ねて干しました。

全校児童で刈取りから束ねて干すまでの一連作業を一生懸命取り組みました。





学校だより・教育長だより

※一部分を抜粋して掲載いたします。全文は下記のQRコードからご覧ください。

【風間浦小学校 学校だより『共生』】

8月26日(月)、37日間という長い夏休みが終了し、風間浦小学校に子供たちが帰ってきました。夏休み前と比べると表情や体格、動作に成長の様子をうかがうことができます。きっとたくさん遊び、たくさん学んだことでしょう。(皆様に感謝です)

さて、2学期は1学期より11日長く、82日登校します。稲刈りやマラソン大会、学芸会などの行事があります。学習や行事、生活面で全力でがんばる皆さんの姿を見ることができると思うと今からワクワクしています。DMM(?)：「できない」「面倒くさい」「無理」などの”後ろ向き言葉”ではなく「なんとかなりそう」「とりあえずやってみよう」「ちょっと本気出すか」などの”前向き言葉”：NTT(?)で日々過ごしましょう。(もちろん自分も含めみんなでがんばりましょう)



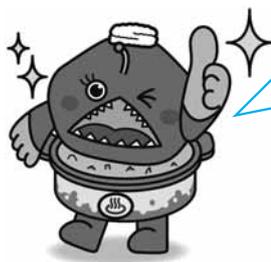
第2学期始業式

【風間浦中学校 学校通信『躍進』】

8月21日(水)～24日(土)の3泊4日の日程で3年生が東京方面へ修学旅行に行ってきました。今年度は下北管内の中学校では初めてとなる「Tokyo Global Gateway」(以下TGG)という英語研修施設を訪問しました。TGGでの3年生のコミュニケーション力が大変素晴らしく、臆することなく英会話を楽しんでいた姿が印象的でした。



【教育長だより『雨ニモマケズ』～皆さんは、ゆかい村の希望です～】



8月14日、令和6年度風間浦村二十歳の集いを開催しました。今回、ゆかい村で二十歳を迎えた皆さんは、風間浦小学校が開校したときの6年生、かつ第1回卒業生です。

諸事情等で出席できない同級生もいましたが、6名の皆さんが多くの来賓の方々や小・中学校時代にお世話になった方々の温かい祝福を受けながら、二十歳としての足跡をふるさとに刻みました。高度情報化、国際化、そしてChatGPTをはじめとする生成AIの進展は、今後の社会や人々の生活に様々な問題や課題をもたらします。しかし、このような時代だからこそ、真の成人となった皆さんは真実を見極め、多様な価値観やものの見方・考え方を柔軟に受け入れながら「地域社会を担う大人」として活躍することを願っています。なぜなら皆さんは、ゆかい村の希望だからです。

【お問合せ先】

風間浦村 教育委員会

☎0175-35-2210



(小学校だより『共生』)



(中学校だより『躍進』)



(教育長だより『雨ニモマケズ』)

第33回榎法華・風間浦村友好地域子ども交流会

8月1日(木)～2日(金)、風間浦村において第33回榎法華・風間浦村友好地域子ども交流会が、開催されました。

この交流会は友好村であった風間浦村と旧榎法華村(現在の函館市榎法華地区)の子ども達が交流を通して友情を深め、お互いの地域について知ることを目的として開催されています。

今年度は、当村から9名、榎法華地区から6名の児童が参加しました。

初めに、風間浦村中央公民館で開会式が行われ、村上教育長と榎法華教育事務所長から挨拶がありました。風間浦小学校6年生の工藤莉緒さんと榎法華小学校5年生の岡山桜大君より、出会いの言葉を述べました。

1日目は、中央公民館で食育改善推進委員の皆さんにご協力をいただき、昼食はカレーを食べ、べこもち作りを体験しました。いさりび公園や下風呂地区を散策するなど風間浦村の地域に触れ、宿泊する下北自然の家では自由時間を過ごし交流を深めていました。その後夕食を食べ、夜にはみんなで花火を楽しみました。

2日目は、憩いの森公園で記念写真を撮り、大間崎でお買い物をしました。昼食をおおま温泉で食べた後、閉会式を行い、風間浦小学校6年の橋本陽和さんと榎法華小学校5年の澤村真実さんよりお別れの言葉を述べました。

参加した子どもたちは、最初は緊張している様子でしたがすぐに打ち解け、友情を深めていました。子どもたちからは、楽しかった、少し寂しい、友達ができて良かったなどの声が多く聞こえました。

【お問合せ先】風間浦村 教育委員会 ☎0175-35-2210



お知らせ

ひとり親家庭等のみなさまへ

「児童扶養手当」に関する大切なお知らせ

令和6年11月1日(金)から児童扶養手当法等の一部が改正され、所得限度額と第3子以降の加算額が引き上げられます。

【所得限度額の引上げ】

児童扶養手当の支給には、前年の所得に応じて、手当の全額を支給する「全部支給」と、一部のみを支給する「一部支給」があります。この度、全部支給及び一部支給の判定基準となる所得限度額を表のとおり引き上げます。

例えば、お子様1人の場合、全部支給については160万円から190万円に、一部支給については365万円から385万円に引き上げられます(収入ベースによる算定)。

扶養する 児童等の数	全部支給となる所得限度額(受給資格者本人の前年所得)				一部支給となる所得限度額(受給資格者本人の前年所得)			
	収入ベース		所得ベース		収入ベース		所得ベース	
	これまで	R6.11月分から	これまで	R6.11月分から	これまで	R6.11月分から	これまで	R6.11月分から
0	1,220,000	1,420,000	490,000	690,000	3,114,000	3,343,000	1,920,000	2,080,000
1人	1,600,000	1,900,000	870,000	1,070,000	3,650,000	3,850,000	2,300,000	2,460,000
2人	2,157,000	2,443,000	1,250,000	1,450,000	4,125,000	4,325,000	2,680,000	2,840,000
3人	2,700,000	2,986,000	1,630,000	1,830,000	4,600,000	4,800,000	3,060,000	3,220,000
4人	3,243,000	3,529,000	2,010,000	2,210,000	5,075,000	5,275,000	3,440,000	3,600,000
5人	3,763,000	4,013,000	2,390,000	2,590,000	5,550,000	5,750,000	3,820,000	3,980,000

【第3子以降の加算額の引上げ】

第3子以降の加算額が引き上げられ、第2子の加算額と同額になります。

これまで

全部支給 6,450円

一部支給 6,440円～3,230円

(所得に応じて決定されます)

令和6年11月分から

全部支給 **10,750円**

一部支給 **10,740円～5,380円**

(所得に応じて決定されます)

令和6年11月分の手当から所得限度額及び加算額の引上げが適用されますが、同年11月分及び12月分の手当については、2か月分の支給月である令和7年1月に支払われます。

【お問合せ先】風間浦村 村民生活課 福祉介護グループ ☎0175-35-3111

令和6年度新型コロナウイルスワクチンの接種費用助成について

令和6年4月1日の予防接種法の改正により、新型コロナウイルスワクチン接種は、「特例臨時接種」から「定期接種」へと変わりました。

それに伴い、村では10月1日より開始される定期接種の対象者に対して、接種費用を以下のとおりに助成いたします。

助成対象者	【定期接種】	○65歳以上の方 ○60歳～64歳で心臓、腎臓、呼吸器に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障害を有し、日常生活がほとんど不可能な方
自己負担額	対象者の方は自己負担「0円」	
助成期間	令和6年10月1日～令和7年3月31日に接種したもの	
接種回数	年1回	
接種費用	<ul style="list-style-type: none"> 風間浦診療所で接種した場合は、自己負担額0円で接種ができます。 風間浦診療所以外で接種した場合は、全額を自己負担でお支払いした後、総合福祉センターげんきかんにて償還払いの申請手続きを行うと、助成金を受領できます。なお、申請の際には領収書を持参願います。(助成額は最大15,300円) ※ 接種をする際には、必ず医療機関へ確認し予約をしてください。 	
その他注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 定期接種の対象とならない方も接種は可能ですが、全額自己負担となります。(金額は15,300円程度ですが、医療機関により異なる場合があります) 昨年度までは、「60歳～64歳の基礎疾患を有するもの(高血圧や肥満、精神疾患等)」を対象に接種しておりましたが、今年度からは定期接種となったため、助成対象外となります。 昨年度まで配布していた接種券等の配布はありません。インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチンと同様に、医療機関にて予約・接種になりますので、お間違いのないようお願いいたします。 	

【お問合せ先】 風間浦村 村民生活課 保健衛生グループ ☎0175-35-3111

国民年金保険料は全額が社会保険料控除の対象です！

日本年金機構から、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が対象者宛てに送付されますので、お手元に届きましたら、大事に保管し、年末調整や確定申告の際に使用してください。

送付スケジュールは下記のとおりです。

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」は、e-Taxで利用できる電子版の交付も行っています。郵送よりも早く受け取ることができ、簡単に確定申告ができるため、電子版を推奨しています。

マイナポータルから「ねんきんネット」にログインし、電子送付希望の登録をすると、マイナポータルの「お知らせ」で電子版を受け取ることができます(登録をすると郵送されなくなります)。

	対象者	送付方法	送付時期
①	令和6年1月1日から令和6年9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方	電子送付	令和6年10月中旬から下旬にかけて順次
		郵送	令和6年10月下旬から11月上旬にかけて順次
②	令和6年10月1日から令和6年12月31日までの間に国民年金保険料を納付された方(①の対象者は除きます。)	電子送付	令和7年1月下旬
		郵送	令和7年2月上旬

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」に関するお問い合わせは下記へご連絡ください。

【控除証明書相談チャット(24時間対応)】

日本年金機構ホームページに、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」に関するお客様からの照会に対して、チャットの形式で自動的に応対するチャットボットを開設しています(令和6年分への更新は令和6年10月下旬予定)。ぜひご利用ください。

【日本年金機構ホームページ】

「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」に関する概要、よくあるご質問(Q&A)等について、日本年金機構ホームページ(<https://www.nenkin.go.jp/>)に掲載しています(令和6年分への更新は令和6年10月上旬予定)。

【ねんきん加入者ダイヤル】

◆電話番号 (ナビダイヤル) 0570-003-004
050から始まる電話の場合は、(東京) 03-6630-2525

◆受付時間 月～金曜日 午前8:30から午後7:00
第2土曜日 午前9:30から午後4:00

※土日・祝日(第2土曜日を除く)、12月29日から1月3日はご利用いただけません。

【お問合せ先】 風間浦村 税務国保課 ☎0175-35-2111

● 障がい者相談のお知らせ（障害者相談支援事業）

村では、障害者相談支援事業を実施しております。障がいのある人や家族からの様々な相談に応じ、必要な情報提供や障害福祉サービスの利用支援等を行います。

下半期の日程は下記のとおりとなりますので、相談希望の方は、事前に下記までご連絡ください。

【日 時】 第3水曜日 午後2時30分から午後3時30分まで 【場 所】 総合福祉センターげんきかん

◎令和6年度の相談日

令和6年10月16日（水）	令和6年11月20日（水）	令和6年12月18日（水）
令和7年 1月15日（水）	令和7年 2月19日（水）	令和7年 3月19日（水）

※むつ市にある相談支援事業所（知的・身体・精神）の相談支援専門員が相談や助言を行います。

【お問合せ先】 風間浦村 村民生活課 福祉介護グループ ☎0175-35-3111

● 法人の確定申告がインターネットでできます

青森県では、地方税共同機構が運営する地方税ポータルシステム（通称「eLTAX：エルタックス」）を利用して、インターネットによる法人県民税・法人事業税・特別法人事業税の申告受付を行っています。

ご利用方法などの詳細は、eLTAXホームページをご覧ください。<https://www.eltax.lta.go.jp/>

【お問合せ先】 下北地域県民局県税部課税課 ☎0175-22-8581（内線207）

● 県民みんなで「防災チャレンジ」！

青森県では11月5日（火）津波防災の日から11月24日（日）までの期間を防災ウィークとして、県民一斉の訓練や防災に関する取組をしていただく期間を設けます。

「いざというとき」に備えるため、訓練への積極的な参加や、備蓄品の準備・確認にチャレンジしましょう。

【防災チャレンジとは】

11月5日（火）津波防災の日から11月24日（日）までの期間中、県全体で訓練等を実施します。この期間に訓練や防災に関する取組にチャレンジしてみましょう。

【防災チャレンジの例】

- ・11月15日（金）午前9時の防災無線等の合図とともに、頭などを落下物から守る県民一斉の「シェイクアウト訓練」にチャレンジ
- ・いざというときの備蓄品の確認にチャレンジ など

【検索ワード、QR等】

10月上旬に開設予定の専用ホームページで、防災チャレンジへの参加登録ができます。

- ・検索ワード 青森県庁ホームページ「青森県防災チャレンジ」

【お問合せ先】 県所管課「県防災危機管理課」 ☎017-734-9180



● 第20回むつ海洋・環境科学シンポジウム開催

むつ市及び六ヶ所村に所在する研究機関の近況報告・研究報告等を行うシンポジウムを開催します。

【日時】 11月14日（木）13時30分～17時00分 【参加料】 無料（会場定員180名）

【場所】 むつグランドホテル及びオンライン 【詳細】 二次元コード参照

【お問合せ先】 第20回むつ海洋・環境科学シンポジウム事務局（海洋研究開発機構むつ研究所）

☎0175-25-3811 ✉mio_shomu@jamstec.go.jp



● (公社)青森県シルバー人材センター連合会よりお知らせ

風間浦村シルバー人材センターでは、会員募集中です。知識や経験を活かして一緒に働いてみませんか

【募集要件】 原則60歳以上の風間浦村在住で、健康で働く意欲のある方 ※会員は年会費2,000円です。

【受付時間】 平日午前8:30から午後4:00まで（土日祝日休） ※前もってお電話でご予約ください。

【持参物】 各種免許・資格証明書 ※入会される場合は縦3cm×横2.5cmの顔写真、印鑑をご用意ください。

①当月の作業に応じて、翌月に報酬（配分金）が支給されます。

②雑草等の刈払作業で使用する刈払機は各自持ち込みとなりますのでご了承ください。

【お問合せ先】

風間浦村シルバー人材センター

（総合福祉センター「げんきかん」内、風間浦村社会福祉協議会 事務局 ☎0175-35-2243（担当：佐藤））

※青森労働局委託事業：高齢者活躍人材確保育成事業（公益社団法人青森県シルバー人材センター連合会）

8月30日（金）～9月1日（日）に、しもきた克雪ドームをメイン会場に、第14回日本ジオパーク全国大会下北大会が開催されました。台風が接近する中で、開催が危ぶまれた場面もありましたが、無事3日間の行程を終えることができました。

今回は、この下北大会がどんな様子だったのか感じていただけるように、3日間をレポートします。



8月30日（金）

全国大会1日目は下北文化会館から始まりました。津軽海峡海鳴り太鼓の力強い演奏で、幕が明け、開会セレモニー、パネルディスカッションが行われ、2階席まで埋まるほど多くの方に御来場いただきました。

夜には大交流会が開かれ、600名を超える方々がむつマエダアリーナに集まりました。マグロの解体ショー、田名部まつりのお囃子や鏡開きなどが行われ、ステージの前には多くの方がカメラを持って集まり大盛況でした。下北の食と文化を存分にご堪能いただき、参加者からは、「こんなにすごいおもてなしの交流会は初めてだ」という嬉しいお言葉も。

8月31日（土）

大会2日目、しもきた克雪ドームでは口頭発表・ポスター発表が行われ、下北からは1300人もの児童・生徒が集まり、地域からは今までのジオパーク学習の成果を全国の皆さまにお見せすることができました。

プラザホテルむつでは、むつ中学校生徒による演劇「証」が上演され、なんと100席以上も増席し、多くの方に感動を届けました。

また、大会期間中、ボランティアスタッフとして多くの生徒の皆さんが活躍してくれました。大会に参加していた方から、「気持ちの良い挨拶と案内でとても感動した」とのお言葉をいただき、子どもたちが輝く大会となりました。



9月1日（日）

大会最終日は天気に恵まれ、Mmm!も大盛況でした。前日雨天中止となった湾内クルーズも無事開催され、240名の方に、自衛隊がある下北ジオパークならではの体験を楽しんでいただけました。

メインステージでは子どもたちや大湊音楽隊の皆さま、うっちゃんみかちゃんが会場を盛り上げ、あっという間に閉会セレモニーとなりました。

「2016年の認定から8年、下北ジオパークの成長の証を刻んだ3日間。この誇りを胸に、それぞれがまた新たな一歩を」という第14回日本ジオパーク全国大会下北大会実行委員会会長（山本むつ市長）の言葉は、この下北大会に携わったすべての方の心に響いたのではないのでしょうか。

おもてなしの下北、最後は全国各地に帰る皆さまを会長（山本むつ市長）を筆頭にお見送り。

多くの方に支えられ、この下北大会を開催することができました。この3日間は今までのジオパーク活動の証であると共に、今後の地域を盛り上げるパワーとなります。この勢いのまま、再認定審査へ！

風間浦駐在所広報

作成／貝森 慶樹



山岳遭難を防止しましょう

これからの時期は、キノコ採りによる**山岳遭難**の発生が懸念されます。
また、今年は**熊**の目撃も多いため、**熊**に対する対策も必要です。
山岳遭難は、昨年、大間警察署管内でも発生しております。
山岳遭難の原因の多くは道迷いで、遭難者のほとんどは65歳以上の高齢者です。
遭難しないためには

- スマートフォンに登山用GPSアプリ（YAMAP）をインストールする
- 家族などに入山場所と下山予定時間を知らせる
- 目立つ服装でなるべく複数で入山する
- 携帯電話、非常食などを持ち歩く
- 体調が悪いときは、無理をしない
- 早めの下山を心掛ける

などを守りましょう。



YAMAP QRコード



拉致の可能性を排除できない事案に係る方々に関する情報提供を

拉致の可能性を排除できない事案に係る方々とは、失踪理由が判然とせず、長期間所在不明となっていることから、北朝鮮による拉致の可能性のある方々です。

警察が捜査・調査の対象としている方々は、全国で**871人**です。

警察は、すべての拉致容疑事案等の全容解明に向け、関連情報の収集、捜査・調査に全力を挙げることとしています。

青森県内の対象者については青森県警ホームページをご覧ください。



子供や女性の犯罪被害防止のために

防犯意識を高めよう！

- 防犯ブザーや防犯笛を持ち歩こう
- 周囲や後ろに気をつけよう
- 一人歩きは注意！複数人で行動しよう
- 「歩きスマホ」はやめよう
- 周囲に助けを求めよう

ながら見守りにご協力を！

普段していることを登下校時間帯に行うことが「見守り活動」になります。

一人でも多くの目で「見守り活動」を行うことが犯罪抑止につながります。

地域全体で子供や女性を犯罪から守りましょう。



運転免許証の更新受付場所について

大間警察署で、70歳以上の方を対象に開設されていた運転免許証の出張更新窓口は、本年9月5日（木）で**受付終了**となりました。

最寄りの受付窓口は、**むつ自動車運転免許試験場**（むつ警察署）となります。

ご理解、ご協力をお願いします。



あおり運転や蛇行運転は危険です。目撃したら警察まで通報してください。

大間病院だより



気をつけよう虫刺され

内科医長 落合 秀也

みなさんこんにちは、大間病院の落合です。

だいぶ真夏の暑さも北通りを去りつつありますね。ここからは気温が下がってくるとともにキノコなど山菜のシーズンが始まりますね。好きな人にとってはたまらない季節がやってきました。そこで今回は先月に続いて虫シリーズでお話します。

秋にかけては蜂やアブなどに加え、毛虫などによる被害が増加します。どの虫に関しても基本的には異物を注入されることで皮膚の中で炎症反応が起こってしまい熱や赤み、痒みや痛みなど多彩な症状を認めます。ひどい人ではアナフィラキシーショックという重症のアレルギー症状で血圧低下や呼吸苦が出る人もいます。蜂の毒液の中にはヒスタミンやセロトニンなどの活性アミン、痛みの原因となる発痛ペプチド、アレルギーの原因となる酵素類が含まれています。難しい話になりますが、それぞれの蜂の毒は微妙に異なりますが、交叉反応性という現象により、同じ種類でない蜂に刺されてもアレルギー症状を発することが知られています。そのため、今回がスズメバチに刺されたのが初めてだという人でも、以前に違う蜂に刺されたことがあれば、それは大丈夫だと言える証拠にはならないのです。

治療方法是对症療法しかなく、痒み止めや痛み止め、抗生物質の内服もしくは外用薬の塗布になります。すぐに効果は現れにくく、しばらく苦しい時間を過ごすことになります。重症例では大間病院では治療できず、救急車で大きな病院へ向かう必要があることもある危険な病気です。

最も大事なことは刺されないことです。長袖長ズボン、手袋、長靴など可能な限り予防した上で行楽シーズンを楽しみましょう。また、刺された際にはすぐに病院にくること。みなさんが刺されることなく過ごされることを祈っています。



健康
だより

がん検診を毎年受けよう

～10月18日(金)

秋の総合健診があります～

がん検診は『毎年受けて、早期発見!』が大切です。早い段階で発見すると、早く治療が受けられます。毎年受けて、早期発見・早期治療をしましょう。

40歳以上の村民は、今年度最後となるがん検診の受診を検討してみましょう。

胃がん検診



- 胃部X線検査はバリウムと発泡剤を飲み、胃の粘膜の状態を確認する検査です。手すりをしっかり持ち、色々な体の向きから撮影します。
- 前日の夜9時以降は飲食を控える必要があります。

肺がん検診



- 胸部X線検査は肺にがんを疑う影がないか調べます。写真を撮るだけの検査です。
- 前日の食事や内服薬の制限はありません。
- 当日はアクセサリーやベルトを外して撮影する必要があります。
- 検診当日は無地のTシャツやゴムのズボンが良いです。フックなどの金具がついている衣類は避けた方が良いです。

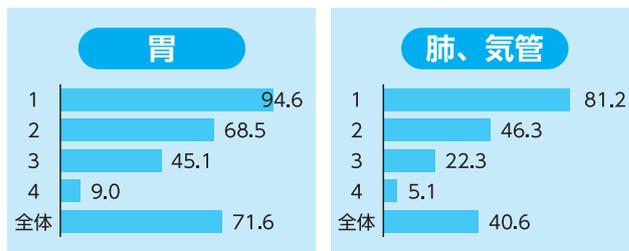
がん検診受診後に精密検査が必要である場合の流れ

精密検査のお知らせ



↓
病院受診
↓
再検査
↓
陽性
↓
治療

がんの部位別5年生存率 ※ステージ別相対生存率



図：国立がん研究センター「がん診療連携拠点病院等院内がん登録2012年3年生存率、2009年から10年5年生存率公表喉頭・胆嚢・腎・腎盂尿管癌3年初集計」

何か気になること、相談したいことがあれば、遠慮なく村民生活課までご連絡ください!

【お問合せ先】風間浦村 村民生活課 保健衛生グループ ☎0175-35-3111

みなさまのご協力ありがとうございます ～赤い羽根共同募金運動～

10月から全国で始まっております「赤い羽根共同募金運動」につきましては、皆様のご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

青森県内の共同募金運動は、「社会福祉法人青森県共同募金会（県共募）」が実施しており、各市町村社会福祉協議会（社協）が「共同募金委員会」を設置して、共同募金運動を行っています。

皆様からいただいた募金は、翌年度に県内の社協やNPO法人、福祉施設、住民組織などの地域福祉活動費として助成されるほか、大災害に備えた準備金の積立や県共募運営費に使われます。

令和5年度の実績により当社協には、今年度42万円が助成され、「移送サービス事業」に使われます。

皆様には、地域福祉事業の趣旨をご理解下さり、社協で依頼した「募金ボランティア」の方々が訪問した際には、温かい善意を寄せて下さいますようお願い申し上げます。

【令和5年度募金実績額】 511,010円 【令和6年度募金目標額】 460,000円

【移送サービス事業について】

移送サービスは利用料や、今回紹介した「赤い羽根共同募金」の地域還元である共同募金助成金を財源とし、総事業費の不足分は風間浦村からの補助金で賄われています。（5年度延利用者数：164人）

【利用対象者】

次の状態にあり、他人の介助によらずに移動することが困難で、かつ、単独で公共交通機関を利用することが困難な方。

- 寝たきりの方、常時車椅子を使われている方
- 要支援、要介護状態にある方、総合事業対象者
- その他、心身に障がいのある方

【利用目的】

- 通院や入退院、転院、施設への移動（発着地点、村内限定）



移送車両（共同募金助成）

赤い羽根共同募金実績表(過去5年)

(単位：円)

		5年度	4年度	3年度	2年度	元年度
目標額		460,000	460,000	460,000	440,000	480,000
実績額		511,010	592,782	445,584	453,144	439,560
達成率(%)		111.1	128.9	96.9	103.0	91.6
内訳	戸別募金	341,226	355,547	394,630	406,298	405,634
	職域・学校等	73,201	70,301	50,954	46,846	33,926
	ピンバッチ募金	96,583	166,934	-	-	-

あんきもんピンバッチ2024 Newデザイン（ぺこりバージョン）登場!!

赤い羽根共同募金「ご当地ピンバッチ」とは

「赤い羽根」に地域で親しみのあるキャラクターを合わせてデザインし、赤い羽根共同募金を身近に感じながら、地域全体で積極的に参加・協力いただくことを目的に令和4年度から実施しています。

風間浦村のPRにもつながりますので、ぜひご協力をお願い致します。

社協内「共同募金委員会事務局」もしくは、以下の協力店において下さり、500円以上募金された方に1個贈呈しています。（数量限定）

【協力店】

風間浦郵便局、易国間郵便局、五十洲商店（蛇浦）、金森商店（下風呂）
桑畑温泉「湯ん湯ん♪」、下風呂温泉「海峡の湯」



風間浦村 2024

● 村で実施した「すこやか育児学級」の様子をご紹介します

村では生後4か月から3歳未満の保育所未入所児を対象に、育児不安の軽減や参加者同士の情報交換を目的にすこやか育児学級を開催しています。9月3日（火）に開催された様子を紹介いたします。



身体計測のようす



青森県立保健大学看護学科4年
宮越さん中野さんによる健康教室

【内容】

- 問診
- 身体計測
- 保健指導
- 離乳食教室
- 助産師による個別相談
- 産後の骨盤矯正ヨガなど



産後骨盤矯正ヨガ



池田 逢人くん



佐賀 詠太くん



風間浦村 村民生活課

● こどもたちを預かってくださる里親家庭を募集しています

さまざまな事情により親元で生活できないこどもを、家族の一員として温かく迎え入れて育ててくださる方を「里親」といいます。

親と暮らせないこどもたちは、青森県内で約310人（令和5年3月時点）いると言われています。里親は、こどもたちが健やかに育つよう、共に生きていく新しい家族のかたちでもあります。

こどもを育てるために必要な生活費、教育費、医療費などは支給されます。詳しい内容をお聞きしたい方、里親に興味をお持ちの方はぜひご連絡ください。



◆社会福祉法人藤聖母園 若葉乳児院 フォスタリングわかば
(青森県里親養育包括支援事業受託法人)

☎080-9254-8993 ✉wakaba_houkatsu@vesta.ocn.ne.jp

【お問合せ先】風間浦村 村民生活課 福祉介護グループ ☎0175-35-3111

私たちの村の人口

(8月末現在)

男	754人	(先月比-1人)
女	816人	(// +1人)
計	1,570人	(// ±0人)
世帯数	845世帯	(// +4世帯)

(8月届出分)

●お誕生おめでとうございます
今月はありません

●お悔み申し上げます
松本 清さん (73歳) 蛇浦